

## いわき市周辺の土壌サンプリング

5月の24日（土）と25日（日）の2日間、いわき放射能市民測定室『たらちね』主催の講演会に呼ばれていわき市に出かけた。いわき行きに合わせて、27日（火）に浪江町赤宇木地区の調査を計画したので、26日はいわき市から二本松市への移動日となった。たらちねスタッフのご好意で26日は車を出してもらい、いわき市から川内村、富岡町にかけて案内してもらった。6カ所で土壌サンプリングを実施した。測定結果などまとめておく。

- ◇ 日時：5月26日（月）10時JRいわき駅前出発、16時JR二本松駅前着、天候は曇
- ◇ 参加者：今中とたらちねスタッフ3人
- ◇ 土壌サンプリング：内径5cm 高さ5cmのステンレス円筒サンプラーで土壌を採取し、熊取の研究室に持ち帰り、Ge測定器によりセシウム137とセシウム134を測定した。図1にサンプリング位置、表1に結果を示す。

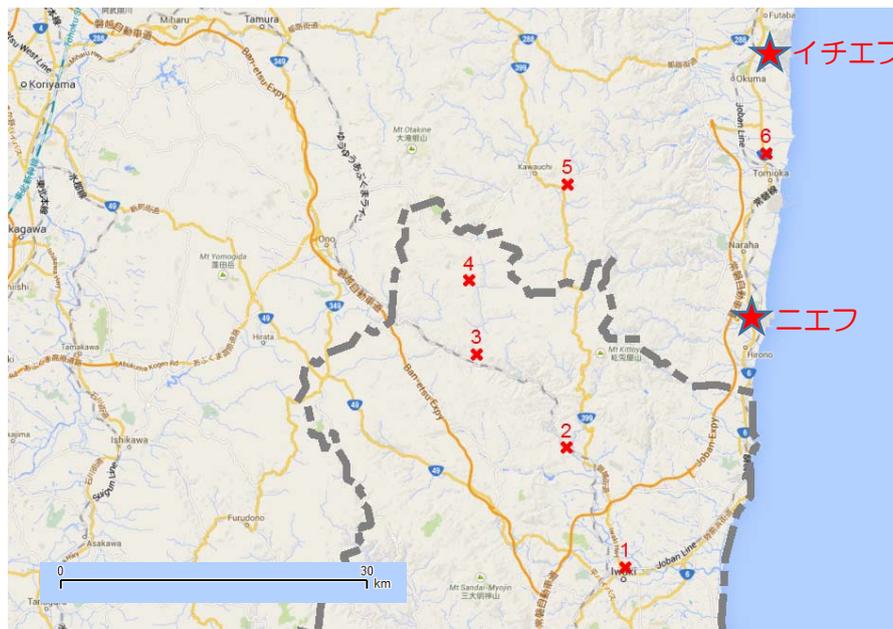


図1. サンプリング位置 (No.1～No.6)

表2. 土壌サンプル測定結果

No	場所	線量率 $\mu\text{Sv/h}$	重量 g	測定日	濃度、Bq/kg		汚染密度、Bq/m <sup>2</sup>	
					Cs137	Cs134	Cs137	Cs134
1	いわき駅裏城跡	0.16	143.6	5/28	160	57	1.2万	4200
2	いわき市小川	0.12	81.2	5/29	340	110	1.4万	4600
3	いわき市川前	0.14	71.32	5/29	180	61	6500	2200
4	いわき市志田名	1.3	141.1	5/29	4300	1400	31万	10万
5	川内村諏訪神社	0.24	153.5	5/29	48	16	3700	1200
6	富岡町検問近く	7.4	83.1	5/28	4.7万	1.6万	200万	68万

下記の写真はサンプリング地点の様子である。No. 1 は JR いわき駅裏の城跡にある丹後沢公園の一角。いわき駅表側のビル街・商店街の空間線量率は  $0.06\sim 0.08\ \mu\text{Sv/h}$  で汚染を感じさせないが、裏山は  $0.16\sim 0.18$  くらいあった。No. 2 は 県道 41 号線の道路脇。No. 3 は 41 号線から志田名へ向かう 県道 359 線へ入ってすぐのところ。No. 3 の土壌濃度が低い理由はよくわからない。No. 4 は 志田名の除染廃棄物仮置き場へ向かう道の途中。No. 5 は 川内村の役場の近くの神社。土壌濃度が低いのは除染されていたためだろう。空間線量は裏山からのもの。No. 6 は イチエフから南へ約 6km で 帰還困難区域のすぐ外の住宅街。道路の真ん中に見えるのが立ち入り制限の柵。居住制限区域とはいえ  $7.4\ \mu\text{Sv/h}$  という値は強烈だった。



◇ いわき市周辺のセシウム 137 汚染マップ

NNSA（米国核安全保障局）が公表している空中サーベイデータを基に、GIS（地理情報システム）ソフト ARCGIS を使ってセシウム 137 沈着量マップを作成し、文科省が公表している航空機サーベイマップとを比較してみた。色は違うが、区分は文科省と同じにしてある。一見似ているようで微妙に違う。我々の方が、全体的に沈着量が大きそう。土壌測定データの比較では、No. 1～No. 3 の測定値はどちらのマップより小さい。No. 4 の志田名と No. 6 の富岡はまずまず一致といった感じ。ARCGIS による分析も、今中はほんの駆け出しなので、参考程度に眺めてもらえればありがたい。

